

工事完成図書の電子納品等要領

項目(番号は改定前)	旧		新		理由
	頁	内容	頁	内容	
年月	表紙	平成 22 年 9 月	表紙	平成 28 年 3 月	改定版発行
改定履歴 要領・基準名称 備考	表紙裏		表紙裏	要領・基準名称：工事完成図書の電子納品等要領 平成 28 年 3 月 適用要領基準：土木 201603-01 備考：平成 28 年 3 月初版発行	本改定版の追加
用語の定義	2	CAD 製図基準(案)	2	CAD 製図基準	最新の基準に変更
3. フォルダ構成	3	「REGISTER」、「OTHERS」フォルダの下に「ORGnnn」オリジナルファイルフォルダを置く。格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてもよい。	3	「REGISTER」、「OTHERS」フォルダの下に「ORGnnn」オリジナルファイルフォルダを置く。また、i-Construction に係る電子データファイルを格納するため、電子媒体のルート直下に「ICON」を置く。格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてもよい。	ICON の追加
用語の定義	3	CAD 製図基準(案)	3	CAD 製図基準	最新の基準に変更
3. フォルダ構成	3	ただし、発注者の指示及び、参照する各種要領等により指定されている場合は連番としなくてもよい。	3	ただし、発注者の指示及び、参照する各種要領等により指定されている場合は連番としなくてもよい。 ・「ICON」フォルダには、i-Construction に係る電子データファイルを関連する要領等に従い格納する。	ICON の追加
3 フォルダ構成【解説】	5	「REGISTER」及び「OTHERS」フォルダの、「ORGnnn」オリジナルファイルフォルダ内には任意でフォルダを作成することができるが、階層は、「7-1 電子成果品」において使用を原則とする CD-R の論理フォーマットの制約からルートから数えて最大 8 階層までとなることに注意する。	5	「REGISTER」及び「OTHERS」フォルダの、「ORGnnn」オリジナルファイルフォルダ内には任意でフォルダを作成することができるが、階層は、「7-1 電子成果品」において使用を原則とする CD-R の論理フォーマットの制約から階層の制限は無いが、全体のパスの文字数は 120 文字までとなることに注意する。	CD-R のフォーマットを変更
表 4-1 工事管理項目	6 ～ 9	CORINS TECRIS	6 ～ 9	コリンズ テクリス	名称変更
適用要領基準	6	電子成果品の作成で適用した要領・基準の版(「土木 201009-01」で固定)を記入する。 (分野：土木、西暦年：2010、月：09、版：01)	6	電子成果品の作成で適用した要領・基準の版(「土木 201603-01」で固定)を記入する。 (分野：土木、西暦年：2016、月：03、版：01)	本改定版への変更
工事实績システム登録番号	7	CORINS センターが発行する受領書に記載される番号を記入する。CORINS 登録番号がない工事は「0」を記入する。	7	コリンズ・テクリスセンターが発行する登録内容確認書に記載される番号を記入する。コリンズ登録番号がない工事は「0」を記入する。	組織名称の変更 「受領書」が「登録内容確認書」に変更

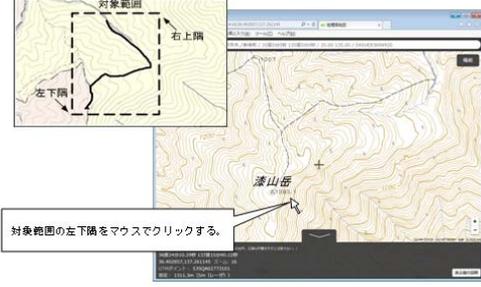
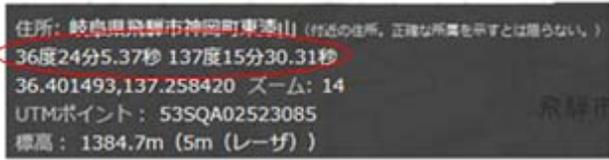
測地系	8	日本測地系、世界測地系（日本測地系 2000）の区分コードを記入する。日本測地系は「00」、世界測地系（日本測地系 2000）は「01」を記入する。	8	日本測地系、世界測地系（JGD2000）、 世界測地系（JGD2011） の区分コードを記入する。日本測地系は「00」、 世界測地系（JGD2000） は「01」、 世界測地系（JGD2011） は「02」を記入する。	世界測地系（JGD2011）を選択肢に追加
対象水系路線名	7	CORINS の路線・水系名等に従って記入する。	8	テクリス の路線・水系名等に従って記入する。	対象水系路線名の表がテクリス選択項目に格納されたため
発注者コード	9	文字数：127 記入者：□	9	文字数： 8 固定 記入者： ■	国土交通省「電子納品に関する要領・基準」Web サイトに掲載のコードから選択
(1) 基礎事項	10	・付属資料 1 に管理ファイルの DTD、付属資料 2 に管理ファイルの XML 記入例を示す。	10	・付属資料 1 に管理ファイルの DTD、付属資料 2 に管理ファイルの XML 記入例を示す。 ・ i-Constructon データフォルダ「ICON」は当面の間、工事管理項目の基礎情報には記入しない。DTD の要素としても定義しない。	ICON の追加
(1) 基礎事項	10	CORINS(コリンズ：COnstruction Records Information Service)は、「工事实績と技術者のデータベース」であり、公共工事の一般競争入札方式等の入札・契約手続きを支援する。	10	コリンズ(Construction Records Information System) は、「工事实績と技術者のデータベース」であり、公共工事の一般競争入札方式等の入札・契約手続きを支援する。	CORINS の名称変更
1) 「住所コード」(必須記入項目)	10	住所コードは工事対象地域が位置する都道府県または市区町村を表し、JISX0401（都道府県コード：2 桁）と JIS X0402（市区町村コード：3 桁）を組み合わせる 5 桁の数字を記入する。	10	住所コードは工事対象地域が位置する都道府県または市区町村を表し、 下記 URL で公開されているコード表から選択し、記入する。 http://www.cals-ed.go.jp/cri_otherdoc/	コード表の掲載 URL を明示
(G) 境界座標(必須記入項目)	12	「境界座標」は世界測地系(日本測地系 2000)に準拠する。	12	「境界座標」は、世界測地系（JGD2011）に準拠する。 なお、境界座標を JGD2000 の測地系で取得した場合には、JGD2011 の座標（緯度経度）に変換する必要はない。	世界測地系（JGD2011）への変更。
(H) 発注者コード	12	(H) 発注者コード 発注者コードは、発注者の指示に従って記入する。	12	(3) 発注者に関わる情報の記入 発注者コードは、 下記 URL で公開されているコード表から選択し、記入する。 http://www.cals-ed.go.jp/cri_otherdoc/	発注者コードが場所に関わる情報の中で解説されていた。 コード表の掲載 URL を明示
表 4-2 台帳管理項目 オリジナルファイル名	13	台帳のオリジナルファイル名の拡張子を含めて記入する。 データ表現：半角英数大文字 文字数：12 記入者：□	13	台帳のオリジナルファイル名 を 拡張子を含めて記入する。 データ表現：半角英数大文字 文字数： 13 記入者：□	オリジナルファイルは 4 文字の拡張子のファイルを格納可能とする。

表4-3 その他管理項目 オリジナルファイル名	15	オリジナルファイル名を拡張子を含めて記入する。 データ表現：半角英数大文字 文字数：12 記入者：□	15	オリジナルファイル名を拡張子を含めて記入する。 データ表現：半角英数大文字 文字数：13 記入者：□	オリジナルファイルは 4文字の拡張子のファ イルを格納可能とす る。
表4-4 施工計画書管理 項目 施工計画書オリジナ ルファイル名	17	施工計画書の文書、図面等のオリジナルファイル名を拡張子 を含めて記入する。 データ表現：半角英数大文字 文字数：12 記入者：▲	17	施工計画書の文書、図面等のオリジナルファイル名を拡張子 を含めて記入する。 データ表現：半角英数大文字 文字数：13 記入者：▲	オリジナルファイルは 4文字の拡張子のファ イルを格納可能とす る。
表4-5 打合せ簿管理項 目 (2/2) 打合せ簿オリジナ ルファイル名	20	打合せ簿のファイル名を、拡張子を含めて記入する。 データ表現：半角英数大文字 文字数：12 記入者：▲	20	打合せ簿のファイル名を、拡張子を含めて記入する。 データ表現：半角英数大文字 文字数：13 記入者：▲	オリジナルファイルは 4文字の拡張子のファ イルを格納可能とす る。
表4-6 工種区分の記 入可否の目安	21	出来形管理の種別、細別は、それぞれ種別○、細別○	21	出来形管理の種別、細別は、それぞれ種別△、細別△	出来形管理帳票の提出 を簡素化するため
用語の定義	23	CAD 製図基準(案)	23	CAD 製図基準	最新の基準に変更
用語の定義	24	CAD 製図基準(案)	24	CAD 製図基準	最新の基準に変更
5 ファイル形式【解説】	24	拡張子が4文字以上、ファイル間でリンクや階層をもった資料 など、	24	ファイル間でリンクや階層をもった資料など、	オリジナルファイルは 4文字の拡張子のファ イルを格納可能とす るため、「拡張子が4文字 以上、」を削除
6 ファイルの命名規則	25	・ファイル名8文字以内、拡張子3文字以内とする。	25	・ファイルはファイル名8文字以内、拡張子3文字以内とする。 各オリジナルファイルの拡張子は、4文字でもよい。	オリジナルファイルは 4文字の拡張子のファ イルを格納可能とす る。
図6-1	25	拡張子3文字以内	25	左記削除	オリジナルファイルは 4文字の拡張子のファ イルを格納可能とす る。
図6-2	26	拡張子3文字以内	26	左記削除	オリジナルファイルは 4文字の拡張子のファ イルを格納可能とす る。

図 6-3	26	拡張子3文字以内	26	左記削除	オリジナルファイルは4文字の拡張子のファイルを格納可能とする。
(1) 共通規則	26	ファイル名の文字数は、半角（1バイト文字）で8文字以内、拡張子3文字以内とする。	26	ファイル名の文字数は、半角（1バイト文字）で8文字以内、拡張子3文字以内とする。 オリジナルファイルの拡張子は、オリジナルファイル作成ソフト固有の拡張子とし、文字数は4文字でもよい。	オリジナルファイルは4文字の拡張子のファイルを格納可能とする。
7-1 電子成果品	28	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の3条件を満たす電子的な納品的手段として、CD-R（一度しか書き込みができないもの）の使用による納品、… ・CD-Rの論理フォーマットは、IS09660（レベル1）を原則とする ・基本的には、1枚のCD-Rに情報を格納する。 ・複数枚のCD-Rになる場合は、「7-3電子媒体が複数枚に渡る場合の処置」に従う。 ・基本的にはCD-Rの使用とするが、特定のシステムに依存しないフォーマット形式や再生ドライブの普及度を考慮して、DVD-Rも協議により可とする。 ・DVD-Rにデータを記録する（パソコンを使って記録する）際のファイルシステムの論理フォーマットは、UDF (UDF Bridge) とする。 	28	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の3条件を満たす電子的な納品的手段として、CD-RまたはDVD-R（一度しか書き込みができないもの）の使用による納品、… ・データが大容量になる場合には、協議によりBD-Rの使用を可とする。 ・基本的には、一枚の電子媒体に情報を格納する。 ・複数枚の電子媒体になる場合は、「7-3電子媒体が複数枚に渡る場合の処置」に従う。 ・基本的にはCD-Rの使用とするが、特定のシステムに依存しないフォーマット形式や再生ドライブの普及度を考慮して、DVD-Rも協議により可とする。 ・CD-Rの論理フォーマットは、Jolietを原則とする。 ・DVD-Rにデータを記録する（パソコンを使って記録する）際のファイルシステムの論理フォーマットは、UDF (UDF Bridge) とする。 ・BD-Rにデータを記録する（パソコンを使って記録する）際のファイルシステムの論理フォーマットは、UDF 2.6とする。 	<p>基本的に使用可とする媒体を CD-R または DVD-R とする。</p> <p>協議により BD-R も使用可とする。</p> <p>CD-R のフォーマットを4文字の拡張子に対応するため Joliet に変更。</p> <p>BD-R のフォーマットを追加。</p> <p>記載順を変更。</p>
7-2 電子媒体の表記規則	29	<ul style="list-style-type: none"> ・電子媒体を収納するケースの背表紙には、「工事名称」、「作成年月」を横書きで明記する。 	29	左記削除	媒体ケースの背表紙表記の規定を廃止
図 7-1 電子媒体への表記例	29	フォーマット形式：IS09660（レベル1）	29	フォーマット形式： Joliet	オリジナルファイルは4文字の拡張子のファイルを格納可能とする。
7-2 電子媒体の表記規則	29	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックケースのラベルの背表紙には、以下の例のように記載する。工事名が長く書ききれない場合は頭から書けるところまで記入する。 例：平成○年度○○○○○○○○○○工事平成○年○月 工事名が長く書ききれない場合は、先頭から書けるところまで記入する。 	29	左記削除	媒体ケースの背表紙表記の規定を廃止

(1) 工事管理ファイルの記入例	付 2- 1	<基礎情報> <メディア番号>2</メディア番号> <メディア総枚数>3</メディア総枚数> <適用要領基準>土木 201009-01</適用要領基準>	付 2- 1	<基礎情報> <メディア番号>2</メディア番号> <メディア総枚数>3</メディア総枚数> <適用要領基準>土木 201603-01</適用要領基準>	本改定版への変更
(1) 工事管理ファイルの記入例	付 2- 2	<場所情報> <測地系>01</測地系>	付 2- 2	<場所情報> <測地系>02</測地系>	世界測地系 (JGD2011) の例に変更
(1) 工事管理ファイルの記入例	付 2- 2	<発注者情報> <発注者-大分類>国土交通省</発注者-大分類> <発注者-中分類>〇〇地方整備局</発注者-中分類> <発注者-小分類>〇〇事務所</発注者-小分類> <発注者コード></発注者コード>	付 2- 2	<発注者情報> <発注者-大分類>国土交通省</発注者-大分類> <発注者-中分類>〇〇地方整備局</発注者-中分類> <発注者-小分類>〇〇事務所</発注者-小分類> <発注者コード>02107999</発注者コード> </発注者情報>	発注者コードを追加
1) 住所コード	付 3- 1	JIS の各コードおよびその組み合わせ方は、LASDEC ((財)地方自治情報センター) の地方公共団体コードの6桁コードの上5桁と同一である。下記 URL で公開されているコード表を参照し、該当するコードを記入する。 LASDEC 地方公共団体コード http://www.lasdec.nippon-net.ne.jp/cms/1,0,14.html	付 3- 1	住所コードは、下記 URL で公開されている住所コード表から選択し、記入する。 http://www.cals-ed.go.jp/cri_otherdoc/ 住所コードは、総務省が公開している全国地方公共団体コード6桁のうち第6桁の検査数字を除いた5桁の数字である。第1桁及び第2桁の2桁の番号が都道府県コード、第3桁、第4桁及び第5桁の3桁の番号が市区町村コードである。下記 URL で全国地方公共団体コードが公開されている。 総務省 全国地方公共団体コード http://www.soumu.go.jp/denshijiti/code.html	参照するサイトの変更 コード構成の説明追加
5) 境界座標(緯度経度)	付 3- 3	「境界座標」は世界測地系(日本測地系 2000)に準拠する。	付 3- 4	「境界座標」は、世界測地系(JGD2011)に準拠する。なお、境界座標を JGD2000 の測地系で取得した場合には、JGD2011 の座標に変換する必要はない。	世界測地系 (JGD2011) への変更。
(3) 境界座標の調査方法(例)	付 3- 4	2) 地図閲覧サービス(国土地理院)による境界座標の調査方法	付 3- 5	2) 地理院地図(電子国土 Web)による境界座標の調査方法	サイト名の変更

<p>1) 測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス</p>	<p>付 3- 4 ~ 3- 7</p>	<p>測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス http://psgsv.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html</p> 	<p>付 3- 5</p>	<p>測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス http://psgv2.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html</p> <p>「境界座標の取得方法」の説明を削除</p>	<p>URL の更新</p> <p>座標取得方法は、システムが更新されたことにより、前のシステムの説明を削除。</p>
<p>2) 地図閲覧サービス(国土地理院)による境界座標の調査方法</p>	<p>付 3- 7</p>	<p>2) 地図閲覧サービス(国土地理院)による境界座標の調査方法</p>	<p>付 3- 6</p>	<p>2) 地理院地図(電子国土Web)による境界座標の調査方法</p>	<p>サイト名の変更</p>
<p>2) 地図閲覧サービス(国土地理院)による境界座標の調査方法</p>	<p>付 3- 7</p>	<p>2. Web ブラウザより下記 URL のホームページに接続すると、「地図閲覧サービス ウォッチず」が表示される。 http://watchizu.gsi.go.jp/</p> <p>3. 「検索画面」から、該当する地域をマウスで選択する。</p>	<p>付 3- 6 ~ 3- 7</p>	<p>2. Web ブラウザより下記 URL のホームページに接続すると、「地理院地図」が表示される http://maps.gsi.go.jp/</p> <p>3. 画面下部の  をクリックするか、地形図上任意点を右クリックし、コンテキストメニュー(住所、経緯度等の位置情報)を表示する。(その時点で表示されている地形図中心の位置情報が表示される。)</p>  <p>図付 3-2 コンテキストメニューの表示</p>	<p>サイトの変更 対象地図サービスの変更による操作方法の変更</p> <p>説明図の追加 以下図番号変更</p>

	<p>4. 表示された地形図上で、1 で確認した対象範囲の左下隅をマウスでクリックする。</p>  <p>図付 3-4 対象範囲の左下の指示</p> <p>5. クリックした地点の緯度経度が表示される。表示された北緯を「南側境界座標緯度」、東経を「西側境界座標経度」に記入する。</p>  <p>図付 3-5 緯度経度の表示</p> <p>6. 4、5 と同様の手順で対象範囲の右上隅をマウスでクリックし、表示された北緯を「北側境界座標緯度」、東経を「東側境界座標経度」に記入する。</p>	<p>4. 適宜、拡大・縮小・スクロール等の操作を行い、該当する地域を表示し、表示された地形図上で、1 で確認した対象範囲の左下隅をマウスでクリックする。</p>  <p>図付 3-3 対象範囲の左下の選択</p> <p>5. クリックした地点の緯度経度が表示される。表示された緯度を「南側境界座標緯度」、経度を「西側境界座標経度」に記入する。 (緯度、経度は度-分-秒単位で記入する。)</p>  <p>図付 3-4 緯度経度の表示</p> <p>6. 4、5 と同様の手順で対象範囲の右上隅をマウスでクリックし、表示された緯度を「北側境界座標緯度」、経度を「東側境界座標経度」に記入する。</p>	<p>図の差し替え</p> <p>ラスト画像の説明削除</p> <p>度-分-秒単位で記入する説明追加</p> <p>図の差し替え</p>
<p>4) 都道府県の東西南北端点と重心の経度緯度の調査方法</p>	<p>付 3-10 (参照先：日本の東西南北端点の経度緯度) 国土地理院 http://www.gsi.go.jp/KOKUJYOHO/CENTER/center.htm</p>	<p>付 3-9 (参照先：日本の東西南北端点の経度緯度) 国土地理院 http://www.gsi.go.jp/KOKUJYOHO/center.htm</p>	<p>URL の更新</p>